

平成25年度
事業報告

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

「平成 25 年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 多文化共生の地域づくり	3
(1) 情報提供	3
(2) 日本語学習支援	3
(3) 外国人県民の生活支援	5
(4) 講座・研修	9
2 交流による地域づくり	11
(1) 情報の収集・提供	11
(2) 国際交流の推進	11
(3) 国際理解の推進	17
(4) 国際交流団体等との連携	18
3 次代を担う人づくり	20
(1) 講座・研修	20
(2) 海外研修員等の受入れ	21
4 震災被災地復興の支援	22
(1) 外国人相談の実施	22
(2) 震災地域団体支援	22
(3) 日米学生会議「岩手プログラム」	22
(4) アイーナ復興バザーの開催	22
< 管理部門 >	
I 評議員会・理事会等の開催状況	23
1 評議員会・理事会等	23
2 専門委員会	24
II 業務執行体制等	25
III 寄附金及び賛助会員の状況	25
1 寄附金の受入れ	25
2 賛助会員の入退会	26

平成 25 年度事業報告

＜概 要＞

平成 25 年度は、事業計画に基づいて、「多文化共生の地域づくり」、「交流による地域づくり」、「次代を担う人づくり」、「震災被災者の支援」の 4 つの柱により、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に係る事業に取り組んだ。特に、平成 23 年度来取り組んでいる東日本大震災津波の被災地の復興に向けて、被災地の国際交流団体の活動を支援するとともに、被災した外国人県民の生活相談などを継続的に実施した。

また、事業実施に当たっては、本県が誘致に取り組んでいる国際リニアコライダの誘致について啓発活動に取り組むとともに、講演会や各事業の中で国際リニアコライダをテーマにとりあげ、国際交流やグローバルな視点から誘致の意義や本県の多文化共生について考える機会を作ったほか、ホームページや企画展示においても、国際リニアコライダに関して英語により国内外に情報発信を行った。

「多文化共生の地域づくり」、「交流による地域づくり」、「次代を担う人づくり」及び「震災被災者の支援」における主な事業実施の概要は、次のとおりである。

「多文化共生の地域づくり」においては、外国人県民の生活相談の実施、多言語サポーターの育成と活用、日本語サポーターの育成と活用、私費外国人留学生の支援、国際理解ワークショップの開催などを実施した。

また、ホームページを多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で作成し、外国人県民に役に立つ各種生活情報や県民と外国人の交流イベントの情報の提供に努めた。

その他、日本語教室運営を支援するサポーターを育成し、日本語教室の充実を図るため、釜石市で日本語教室開設研修会を開催した。

「交流による地域づくり」においては、国際交流のイベント情報などを紹介する情報紙「jien go」を 6 回発行し、県民の国際交流への参加機会の拡大に努めるとともに、機関誌「いわて国際交流」を 2 回発行し、国際リニアコライダの誘致や東日本大震災や在住外国人による異文化理解に関することなど、県民がより関心を持ちやすいテーマの紙面づくりに努めた。

また、県の国際交流センターの管理運営を行い、情報提供、交流イベント開催、各種相談などにより、県民と外国人の交流等の拠点機能を果たすよう努めた。アイーナで開催した「2013 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」には過去最高となる約 2,500 人が参加するとともに、陸前高田市と釜石市、北上市でも開催し、地域での国際交流の機会をつくった。

「次代を担う人づくり」においては、「いわてグローバル・カレッジ」を 6 回開催

し、岩手という視点を活かしながら、世界のことを考える機会の提供に努めたほか、将来、国際社会で活躍し、岩手の多文化共生社会を担う次世代の人材育成を目的に「いわて青年国際塾」を7回シリーズで開催し、留学の意義を考える講演などのほか、日米学生会議「岩手プログラム」に参加し日米の学生との交流、また、一泊二日の合宿研修を実施し、参加者の意欲高揚を図った。

「震災被災地復興の支援」においては、被災地外国人相談員を委嘱し、被災地の外国人について様々な生活相談に応じた。また、被災地で震災のため活動停止中の団体などについて、組織の再建や活動の再会に向けて支援を行った。

日米学生会議「岩手プログラム」の一環で実施された被災地訪問について、地元住民や学生との意見交換や交流に支援を行った。

また、アイーナ入居施設が連携して取り組むアイーナ復興バザーに参加し、留学生など在住外国人の方々とともにバザーを通じて復興を支援した。

＜事業活動＞

1 多文化共生の地域づくり

(1) 情報提供

① 多言語ホームページによる情報提供

ホームページ (<http://www.iwate-ia.or.jp/>) において日本語・英語・中国語・韓国語により、協会からのお知らせ、イベント等の情報、在住外国人への生活情報等の発信を行ったほか、ツイッターとフェイスブックを連動させ、随時、新しい情報を日本語・英語・中国語で発信した。

- ・ホームページの来訪者 42,544 件（前年度 43,881 件）

② 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行

県内外の国際交流・協力のイベント情報や外国人への生活情報に加え、県内在住の外国人の紹介、海外体験談、イベントレポートなどを掲載した国際交流情報紙「jien go」を日本語版、英語・中国語版で、隔月発行した。

- ・日本語版（隔月 6 回） 合計 21,000 部（3,500 部／回）
- ・英語・中国語版（隔月 6 回） 合計 15,000 部（2,500 部／回）
- （前年度 日本語版（隔月 6 回）合計 18,500 部、英語・中国語版（隔月 6 回）合計 14,500 部）

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

地域住民等とのコミュニケーションが円滑に進み、在住外国人が安定した生活を送ることができるよう、在住外国人の日本語学習を支援した。

ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の様々な日本語学習ニーズにきめ細やかに対応できるよう、在住外国人に日本語を教える日本語サポーターの登録を行い、依頼のあった外国人に紹介して活用を図った。

- ・登録者 215 人（前年度 187 人）
- ・活用 30 件（前年度 21 件）

イ 日本語教室開設研修

在住外国人に対する日本語学習機会の拡大を図るため、市町村国際交流協会等との協働により、地域で日本語教室を新たに開設を目的とした研修会を開催した。

- (ア) 共催 釜石市国際交流協会、釜石市、釜石市教育委員会
- (イ) 講師 岩手大学国際交流センター准教授 松岡洋子 氏
- (ウ) 日本語教師 桂 静子 氏（雫石町日本語教室主宰）
田巻英子 氏（当協会人材活用ネットワーク登録者）
- (エ) 会場 釜石市保健福祉センター、釜石市教育センター

(イ) 受講者数 13名 (延べ 134名)

(ロ) 参加外国人数 9名

(キ) 開催日時及び内容

a 日本語ボランティア概論研修

第1回 平成25年6月15日(土)～16日(日)

第2回 平成25年6月22日(土)～23日(日)

第3回 平成25年7月27日(土)

第4回 平成25年9月7日(土)

b 日本語教室実地研修

平成25年6月30日、7月7日、14日、21日、28日、

8月4日、18日、25日、9月1日、8日(計10回)

ウ 日本語サポーター実践者研修会

日本語サポーターの方々の教材の活用方法やワークショップ形式で指導技術の向上を図るとともに、各サポーター間の情報や意見交換を目的に、国際交流センターで実践者研修会を開催した。

開催回数 1回 24人

(前年度 2回 延べ34人)

講師 日本語交流室じょい 大畑佳代子氏

日本語教室いわて「和」佐々木恵子氏

日本語教室いっぽいっぽ 村井テイ子氏、笠水上恭子氏

当協会日本語サポーター 細田誠司氏

国際交流センター日本語教室講師(当協会スタッフ) 石崎青空

話題提供者 県内在住の留学生 8名

日時 平成26年2月23日(日) 13:30-16:30

テーマ 「外国人の『日本語の学び』をサポートする・・・ってどういうこと??」

② 日本語教室運営支援

地域の日本語教室の経済的負担を軽減して、在住外国人の日本語学習を支援することを目的に、日本語教室の運営費に対して助成した。

・助成数 5件 助成総額 330千円(前年度5件 207千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
「日本語教室」の開催	川崎21世紀国際交流クラブ	80,000円 (160,203円)
NIKK日本語教室	日本語サポートクラブNIKK	40,000円 (55,574円)
岩手町国際交流協会日本語講座	特定非営利活動法人 岩手町国際交流協会	50,000円 (114,324円)
日本語教室「いっぽいっぽ」 運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	80,000円 (169,867円)
日本語交流室「じょい」日本語指導	日本語交流室「じょい」	80,000円 (139,123円)

③ 中級日本語教室開設

在住外国人の日本語能力向上を図り自立支援の促進を目的に、中級レベル以上の学習者を対象とした日本語教室を国際交流センターで開設した。

会話能力だけでなく、読み書きにも力を入れた総合的な能力の向上を図るとともに、日常生活でより一層理解を深めることを盛り込んだカリキュラムを作成し、それにそって実施した。

期間 (前期 12回) 平成 25 年 9 月 5 日 (水) ～11 月 20 日 (水)

(後期 12回) 平成 25 年 12 月 4 日 (水) ～平成 26 年 2 月 26 日 (水)

回数 全 24 回

参加人数 延べ 314 名 (各回平均約 13 名)

(3) 外国人県民の生活支援

① 外国人相談の実施

在住外国人が地域社会の一員として安定した生活を送ることができるよう、在住外国人が抱えている様々な問題を解決に導くことを目的に、岩手県から委託を受け様々な外国人相談を実施した。国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」については、スタッフ職員を配置し、電話や来局して寄せられる日常的な相談に対応した。また、母国語で寄せられる事案については、中国人及び韓国人の相談員を配置し、相談体制の充実を図った。また、常時母国語で相談に対応できるよう、中国人、韓国人の国際交流等補助員を配置し、きめ細やかに支援を行った。

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育てに関することなど幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置した。

- ・相談件数 572 件 (前年度 562 件) (イ、ウの相談件数を含む。)

(相談内容の内訳)

	コミュニケーション	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
25 年度	114	5	38	82	150	183
24 年度	113	4	59	40	110	236

イ 相談専門員の配置

中国語及び韓国語で対応する相談専門員を配置し、県内在住外国人が多い中国、韓国籍の在住外国人からの相談に対応した。

- ・外国人相談専門員(中国、1名) 火曜日～金曜日 12:30～16:30
- ・外国人相談専門員(韓国、1名) 水曜日 15:00～17:00
- ・国際交流等補助員(中国1名・韓国1名) 隔週月曜日～金曜日 17:30～21:30
- ・国際交流等補助員(中国1名) 土曜日・日曜日 16:30～21:30

ウ 行政手続定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続きなどの課題を解決するため、岩手県行政書士会と連携し、定期的に相談日(毎月第3水曜日)を設けた。

- ・開設回数 12回 相談件数 9件 (前年度 12回 5件)

エ 地域巡回相談

地域在住の外国人や日本語教室を支援するため、外国人相談専門員が地域の日本語教室等を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・日本語教室等巡回数 14 教室等（前年度 12 教室等）
- ・相談対応件数 57 件（前年度 32 件）

（相談内容の内訳）

	在留資格	離婚	日本語	子ども	手続き(医療)	夫婦関係	仕事	生活一般
25年度	6	4	10	5	4	4	4	20
24年度	3	1	5	3	1	7	7	5

② 多言語サポーターの登録・育成と活用

在住外国人が地域の中で不便なく生活できるよう、通訳や翻訳のほか、様々な分野において多言語によるアドバイスなどの支援を行った。

ア 多言語サポーターの登録・活用

災害時や医療受診時の通訳、学校における外国人児童生徒等に対する通訳や生活上の諸手続きに関する通訳等の支援に対応できるよう多言語サポーターの登録を行い、依頼のあった際には活用を行った。

- ・登録者 215 人 活用 17 件（前年度 219 人、17 件）

対応言語数 21 か国

イ 多言語サポーター研修会

【盛岡市開催】

(ア) 日時 平成 26 年 1 月 25 日（土）13:00-15:00

会場 アイーナ 6 階 団体活動室 1

テーマ「住居入居、外国人ネットワークについて」

講師 チョン・ソンジュ((公財)日本賃貸住宅管理協会 外国人住生活アドバイザー)、高橋オフエリア、浅沼マリ、西村セシリア(当協会多言語サポーター)

参加者数 9 名

(イ) 日時 平成 26 年 2 月 8 日（土）13:00-15:00

会場 アイーナ 6 階 602 会議室

テーマ「在留資格、教育、免許について」

講師 川村央隆(当協会主査)、船越裕康(当協会スタッフ)

参加者数 10 名

【一関市川崎町開催】

(ア) 日時 平成 26 年 1 月 26 日（日）13:00-15:00

会場 川崎町公民館 研修室

「住居入居、外国人ネットワークについて」

講師 チョン・ソンジュ((公財)日本賃貸住宅管理協会 外国人住生活アドバイザー)、高橋オフエリア、浅沼マリ、西村セシリア(当協会多言語サポーター)

参加者数 37 名

(イ) 日時 平成 26 年 2 月 9 日 (日) 13:00-15:00

会場 川崎町公民館 研修室

「在留資格、教育、免許について」

講師 川村央隆(当協会主査)、船越裕康(当協会スタッフ)

参加者数 23 名

ウ 分野別通訳研修

多言語サポーター登録者の拡充やブラッシュアップを図るため、医療受診時における通訳等の支援や学校における外国人児童生徒等に対する通訳等、分野別の専門研修をそれぞれ開催した。

【盛岡市開催】

(ア) 日時 平成 25 年 6 月 30 日 (日) 13:00-16:30

会場 アイーナ 6 階 団体活動室 1

「医療通訳研修～医療通訳の心構えとロールプレイ」

講師 森田 直美(特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ)

通訳指導者 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静

当協会外国人相談専門員 呉 慧敏

当協会国際交流等補助員 トマス・アンナ

参加者数 14 名

(イ) 日時 平成 25 年 7 月 27 日 (土) 13:00-16:30

会場 アイーナ 6 階 団体活動室 1

テーマ「医療通訳研修～医療通訳ロールプレイ」

講師 ジル・アビュロフ・ニコラ・フリューウ(特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ)

通訳指導者 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静

当協会外国人相談専門員 呉 慧敏

当協会国際交流等補助員 トマス・アンナ

参加者数 17 名

(ウ) 日時 平成 25 年 8 月 24 日 (土) 13:00-16:30

会場 アイーナ 6 階 団体活動室 1

テーマ「生活上の諸手続き、学校における通訳研修～心構えとロールプレイ」

講師 上村康子 (フリーランス通訳／翻訳者)

村井好子(いわて*多文化子どもの教室 むつみっこくらぶ代表)

通訳指導者 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静

当協会外国人相談専門員 呉 慧敏

当協会国際交流等補助員 トマス・アンナ

多言語サポーター マルクス・ロスケン

参加者数 18 名

【一関市開催】

(ア) 日時 平成 25 年 6 月 29 日 (土) 13:00-16:30

会場 なのはなプラザ 3 階 一関公民館 会議室 AB

テーマ「医療通訳研修～医療通訳の心構えとロールプレイ」

講師 森田直美 (特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ)

通訳指導者 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静

当協会外国人相談専門員 呉 慧敏

当協会国際交流等補助員 トマス・アンナ

参加者数 14 名

(イ) 日時 平成 25 年 7 月 28 日 (日) 13:00-16:30

会場 なのはなプラザ 3 階 一関公民館 会議室 AB

テーマ「医療通訳研修～医療通訳ロールプレイ」

講師 ジル・アビュロフ・ニコラ・フリーウ(特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ)

通訳指導者 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静

当協会外国人相談専門員 呉 慧敏

当協会国際交流等補助員 トマス・アンナ

参加者数 12 名

(ウ) 日時 平成 25 年 8 月 25 日 (日) 13:00-16:30

会場 なのはなプラザ 3 階 一関公民館 会議室 AB

テーマ「生活上の諸手続き、学校における通訳研修～心構えとロールプレイ」

講師 上村康子 (フリーランス通訳／翻訳者)

村井好子(いわて*多文化子どもの教室 むつみっこくらぶ代表)

通訳指導者 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静

当協会外国人相談専門員 呉 慧敏

当協会国際交流等補助員 トマス・アンナ

多言語サポーター マルクス・ロスケン

参加者数 18 名

③ 私費外国人留学生支援

ア 私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、月額4万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職を支援するためのフォーラム等への積極的な参加を得た。

・奨学金受給者 10人 国際交流等活動実績 延べ179件（前年度10人 延べ199件）

氏名	国籍（出身）	学校名	在籍学部等及び学年	区分	活動件数	支給期間
邵俊俏	中国（浙江省）	岩手大学	教育学研究修士1年	国際交流	21	h25.4～h26.3
王雨楠	中国（山東省）	岩手大学	工学研究科修士2年	国際交流	16	h25.4～h26.3
鐘雪嬌	中国（浙江省）	岩手大学	教育学研究科修士1年	国際交流	13	h25.4～h26.3
包添慧	中国（内モンゴル）	岩手大学	教育学研究科修士1年	国際交流	15	h25.4～h26.3
栄瑠純	中国（天津市）	岩手大学	工学研究科修士2年	就職支援	28	h25.4～h26.3
白 韵	中国（吉林省）	岩手大学	人文社会科学部修士2年	就職支援	27	h25.4～h26.3
張 潮	中国（浙江省）	岩手大学	工学研究科修士2年	就職支援	12	h25.4～h26.9
金亨烈	韓国（ソウル市）	富士大学	経済学部 4年	国際交流	12	h25.4～h26.3
趙 迪	中国（河北省）	富士大学	経済学部 3年	国際交流	17	h25.4～h26.3
楊 揚	中国（安徽省）	富士大学	経済・経営システム研究科修士3年	国際交流	18	h25.4～h26.3

イ 関係機関と連携しながら外国人留学生の県内就職を支援するため、岩手県が実施（協力・岩手県外国人留学生就職支援協議会）した就職支援セミナーをはじめ、就職関連の情報提供を行った。

(4) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、岩手における今後の国際交流・協力・多文化共生について考える契機とし、県民を対象とした6回シリーズのセミナーを開催した。

その中で、県全体として誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー」もテーマに取り上げ、広く一般県民に ILC 誘致の意義について考えてもらう機会となった。

全体を通して若い世代の参加者が少ないことから、高校生や大学生などの参加者拡大が今後の課題である。

・開催回数 6回 参加者 延べ 245人（前年度 8回 延べ345人）

第1回	日 時／平成 25 年 10 月 27 日（日） タイトル／国際リニアコライダーの実現に向けて 講 師／岩手県政策地域部副部長兼政策推進室長兼首席 I L C 推進監 大平尚氏
第2回	日 時／平成 25 年 11 月 10 日（日） タイトル／21 世紀の日本における「グローバル人材」育成への取り組み 講 師／国際教養大学 副学長 マーク・ウィリアムズ氏
第3回	日 時／平成 25 年 11 月 24 日（日） タイトル／椿油で陸前高田を元気に！～フェアトレードと復興支援～ 講 師／有限会社ネパリ・バザーロ 代表取締役 土屋春代氏
第4回	日 時／平成 25 年 12 月 7 日（土） タイトル／福島から祖国ルワンダを想う 講 師／N P O 法人ルワンダの教育を考える会 理事長 カンベンガ・マリールイズ氏
第5回	日 時／平成 26 年 2 月 2 日（日） タイトル／震災からの復興と日本人の力 講 師／株式会社 八木澤商店 代表取締役 河野通洋氏
第6回	日 時／平成 26 年 2 月 16 日（日） タイトル／グローバル化する世界といわての魅力 講 師／公益財団法人岩手県国際交流協会 理事長 平山 健一

② 国際理解ワークショップの開催

国際理解の推進を図ることを目的に、岩手大学や岩手県立大学盛岡短期大学部、盛岡白百合学園高校等県内の学校等からの依頼に応じて、多文化共生などをテーマにした国際理解ワークショップを開催した。

・開催回数 11 回 参加者 延べ 323 人（前年度 7 回 延べ 82 人）

2 交流による地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

国際交流・協力・多文化共生に関する「情報収集・提供」の拠点施設として外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材、人民日報ほか4か国の外国語の新聞、海外の雑誌、海外留学関連を始めとした様々な国際交流・国際協力・多文化共生に関する情報の収集・提供を行った。

特に、協会の資産である県内外の関係機関、団体や個人とのネットワークを活用して、質の高い情報や資料を集積し、国際交流センターを活用して情報を発信するとともに、広く在住外国人や県民の語学学習、情報収集などに無料で提供した。

加えて、在住外国人の協力を得るとともに、各国大使館や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料、民族衣装や各国の物品などを収集、各イベント時での使用や外部への貸出など、国際理解の推進に活用した。

- ・蔵書等のデータベース登録数 6,977冊（前年度7,415冊）
- ・資料収集国数 190か国（前年度190か国）
- ・国別ボックス数 21箱／67か国

② メーリングリスト「いわてプラネット」の運営

メーリングリスト「いわてプラネット」(i-planet@freeml.com)を運営し、県内外で行われる国際交流・協力に関するイベントや外国人支援・多文化共生に関する情報を随時提供した。

- ・メーリングリスト「いわてプラネット」
登録者数 449人（前年度395人）

③ 多言語の国際交流情報紙「jien go」のメールマガジンの発信

メールマガジン登録者へ情報紙の内容を定期的にメールで提供した。

- ・メールマガジン登録者数 523人（前年度587人）

④ 機関誌「いわて国際交流」の発行

在住外国人の出身国についてなどを特集に取り上げ、年2回発行した。県内の公共機関、各市町村、国際交流関係団体、学校関係機関などに送付し広く一般県民にグローバル化についての啓発普及を行った。また、多言語版（英語・中国語・韓国語）については、協会のホームページに掲載し、在住外国人の方々にも同様の啓発普及を行った。

- ・日本語版 8,000部／年2回（前年度7,000部／年2回発行）

(2) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営推進

岩手県から委託を受けて、県民交流ラウンジや図書資料コーナー、日本語教材室・日本語学習コーナー、相談室、展示コーナー、ワーキングルームなどの

施設の運営を行い、広く一般県民に利用しやすい施設の提供を図った。

また、協会設立以来 20 数年間蓄積してきたノウハウを活用し、県民から出された要望なども踏まえながら、本県国際交流活動等の中核的推進組織としての独自の視点、判断に基づいて、独自予算を使いながら、図書や情報などの収集・提供業務を行った。

「県民交流ラウンジ」については、外国人の国際交流等補助員を配置するなど、外国人県民が気軽に立ち寄り、県民と外国人が触れ合う環境となるよう配慮した。語学コーナー及び国際交流活動専用テーブルでは、語学学習や外国語での交流に活用できるように工夫した。

「日本語教材室・日本語学習コーナー」については、日本語サポーターや在住外国人が充実した日本語学習ができるよう、新しい教材の紹介などを行った。

昨年度に引き続き、日本語学校の留学生の来局が減少したことから、日本語教材室・日本語学習コーナー利用率減少にも大きく影響している。

展示コーナーについては、「アフリカの紹介」「国際リニアコライダー」「日・ASEAN 交流 40 周年」などタイムリーなテーマを取り上げた展示を行ったほか、岩手大学と連携し「外国人留学生により‘岩手のいいところ’写真展」を実施するなど、年間を通じて企画展示を開催しコーナーの活用を図った。

当センターなどを会場に「ワン・ワールド・フェスタ」などイベントを開催することによって、外国人も含め広く県民の方々に当センターの周知することができた。また、「ワン・ワールド・フェスタ」については、ボランティアの方々等と連携して企画運営し、参加者が増加したことからセンターの利用促進を図ることができた。

以上のもとに、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターの業務を推進するため、スタッフ 7 名及び外国人の国際交流等補助員 4 名を配置し、センター利用者への応対、情報収集・提供、在住外国人の相談、国際理解推進等にあたった。

・来館者数	152,209 人	(前年度 148,521 人)
・インターネット利用者数	5,858 人	(前年度 6,247 人)
・情報提供件数	1,300 件	(前年度 1,174 件)

② センター運営サポーターの登録・活用

国際交流センターの運営や協会事業のサポートなどを行うボランティアとしてセンター運営サポーターの登録を行い、ちゃっとランドやグローバル・カレッジなどの当日運営のサポートなどで活用を図った。

・登録者	23 人	(前年度 11 人)
------	------	------------

③ 外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

広く県民に外国人との交流の場を設け、各国の文化紹介などをテーマに、様々な国籍の在住外国人等をゲストスピーカーに迎え、アイーナで 11 回、奥州市江刺区で 1 回開催した。

・開催回数	12 回	参加者	延べ 753 人	(前年度 12 回 延べ 801 人)
-------	------	-----	----------	---------------------

開催日	タイトル	ゲストスピーカー	参加人数
平成 25 年 4 月 27 日	第 158 回 国際お花見ツアー！	アマンダ・クリプス氏（アメリカ出身）、イアン・サトル氏（アイルランド出身）、宮静氏（中国出身）、方恵新氏（韓国出身）、トマス・アンナ・マリ氏（アメリカ出身）、ミランダ・カロール氏（ペルー出身）	82
5 月 18 日	第 159 回 食文化豊かな神々の国～ネパール！	松原杏寿氏（ネパール出身）	45
6 月 16 日	第 160 回 Shall We Dance? 世界の音楽と踊りを楽しもう！	高橋琴美氏、吉田グラディス氏（コロンビア出身）、ナサオン・カポエイラ・ジャパオン	83
7 月 6 日	第 161 回 Let's Speak English with Oxford University Students!!	リチャード・ブラッシュ氏、ルイス・ブラント氏、リジー・ブラント氏、デイビッド・グリフィン氏、シャーロット・ウェラー氏、エスター・バーロー氏（イギリス出身）	48
7 月 20 日	第 162 回 氷と火の国～アイスランド！	ヨン・ラフン・オッドソン氏（アイスランド出身）	44
8 月 24 日	第 163 回 郷愁のアルゼンチン	小山田博氏、小山田フミ氏、佐々木みか氏（アルゼンチン出身）	25
9 月 21 日	第 164 回 岩手県国際交流協会の仲間たち	邵俊侑氏（中国出身）、金亨烈氏（韓国出身）、トマス・アンナ氏（アメリカ出身）、ミランダ・カロール氏（ペルー出身）	19
10 月 19 日	第 165 回 知ってる？東南アジアのこと	ワン・フィーリン氏（シンガポール出身）、チャヤノーン・サブアーパー氏（タイ出身）、ダオ・トゥン・ズン氏（ベトナム出身）	24
11 月 17 日	第 166 回 One World on the Stage～みんな楽しもう～	カレン・アレラ・セニ氏（ソロモン出身）、川崎 21 世紀国際交流クラブ、テルミー氏（アフリカ出身）	175
12 月 21 日	第 167 回 クリスマスパーティー	ヨン・ラフン・オッドソン氏（アイスランド出身）、ベルジェル・シルヴァン氏（フランス出身）、メイガン・ポッティ氏（カナダ出身）、ラトイヤ・タロツク氏（ジャマイカ出身）	136
1 月 23 日	第 168 回 世界のお正月を祝おう！	フェケテ・レーカ氏（ハンガリー出身）、ラーマン・モハンマド・モスタフィズ氏（バングラデシュ出身）、ルクシャナ・ナヒド氏（バングラデシュ出身）、アルシュマリ・アマル氏（ロシア出身）	45
3 月 2 日	第 169 回 ちゃっとランド in 江刺	トマス・アンナ氏（アメリカ出身）、ミランダ・カロール氏（ペルー出身）	27

④ 「2013 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

国際交流・協力・多文化共生の啓発普及を図るため、外国人やボランティアの方々等と連携・協働して「2013 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を国際交流センター及び釜石市、陸前高田市、北上市で開催した。

アイーナ開催については、過去最高の参加者を記録し、幅広い年代の方々や家族連れ、毎年参加しているリピーターの方々のほか、市町村国際交流協会の関係者も年々増加している。

地域開催については、各地域の特色を生かし、地域の団体や外国人の方々を中心となって企画運営にあたり、アイーナで開催したプログラムの一部を加え、フェスタ当日は当協会と協働体制で運営にあたった。

ア 国際交流センターにおける開催

開催日 平成 25 年 11 月 17 日（日）

会場 アイーナ

参加者 2,527 人（前年度 1,850 人）

ボランティア 外国人 75 人, 日本人 84 人, 関係団体 15 人 合計 174 人
(前年度 160 人)

プログラム 「グローバルマーケット ～一村一品運動の紹介～」 「One World on the Stage ～みんなで楽しもう～」 「One World Café ～世界のお昼ごはん～」 「外国紹介ブース」 「国際交流団体活動展示 “Color the World”」 「国際理解ワークショップ」 「子供の広場 Kids Playground」 等

イ 2013 ワン・ワールド・フェスタ in 釜石

開催日 平成 25 年 11 月 30 日 (土)

会場 働く婦人の家

参加者 105 名

共催 釜石市国際交流協会

プログラム 「外国紹介ブース」 「キッズコーナー (フェイスペインティング) 「クラフトコーナー」

ウ 2013 ワン・ワールド・フェスタ in けせん

開催日 平成 25 年 12 月 14 日 (土)

会場 大船渡市猪川地区公民館

参加者 150 人

共催 陸前高田市国際交流協会、大船渡市国際交流協会、
陸前高田ユネスコ協会

プログラム 「外国紹介ブース」 「フィリピンへのチャリティーコーナー」 「インターナショナルレストラン・カフェ」 「インターナショナルショー」 「民族衣装体験コーナー」 「キッズ&クラフトコーナー」 「外国人相談」 「ビンゴゲーム」

エ 2013 ワン・ワールド・フェスタ in きたかみ

開催日 平成 25 年 12 月 22 日 (日)

会場 北上市生涯学習センター

参加者 約 500 人

共催 北上市国際交流ルーム、北上市

プログラム 「民族衣装@フォトスタジオ」 「外国人と遊ぼう! 歌おう! おどろう!」 「インターナショナルキッチン」 「外国人による絵本の読み聞かせコーナー」 「クリスマスのクラフト作り」 「インターナショナルカフェ」 「パネル展示コーナー」 「ホーンティッドハウス」

⑤ 外国文化紹介講師派遣

地域住民の外国文化に対する理解の促進を図るため、県内で開催される外国文化理解に関する行事等に、国際交流員、海外研修員や「いわて留学生大使」等を講師として派遣した。派遣先は、県内各地に広がり、また学校だけでなく、地域の集まりなどにも拡大し、より幅広い年代の方々と交流することができた。

・派遣回数 43 回 参加者 3,814 人 (前年度 44 回 3,540 人)

派遣日	派遣先団体（会場）	派遣講師（国籍等）	事業内容	参加者数
平成 25 年 4 月 11 日	岩手県立水沢高等学校	アマンダ・クリプス （アメリカ）	国際理解	241
6 月 5 日	本宮地区福祉推進会	宮 静 （中国）	料理講座	11
6 月 14 日	杜陵小学校	アマンダ・クリプス（アメリカ） 宮 静（中国）	国際理解	80
6 月 18 日	上米内地区福祉推進会	宮 静 （中国）	料理講座	12
6 月 18 日	健康保険組合連合会岩 手連合会	アマンダ・クリプス （アメリカ）	国際理解	13
6 月 28 日	岩手県立花巻南高等学 校	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	61
7 月 6 日	社会福祉法人あすなろ 会かかの保育園	アマンダ・クリプス （アメリカ）	国際理解	27
7 月 7 日	NPO 法人 H A R P	包 添慧 （中国）	国際理解	11
7 月 26 日	もりおか老人大学山岸 分校	宮 静 （中国）	国際理解	35
7 月 31 日	（財）盛岡国際交流協会	金 亨烈 （韓国）	料理講座	23
8 月 18 日	金ヶ崎町国際交流協会	金 亨烈 （韓国）	料理講座	165
9 月 4 日	盛岡市立城北小学校	宮 静（中国） イアン・サトル（アイルランド） 佐々木みか（アルゼンチン）	国際理解	120
9 月 7 日	NPO 善隣館	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	10
9 月 22 日	野田村教育委員会	楊揚、趙迪（中国）、カンジ ヤスミン（マレーシア）、柳東秀 （韓国）、チャヤノーン サ ブァーバー（タイ）	国際理解	50
10 月 20 日	一関国際交流協会	アマンダ・クリプス （アメリカ）	国際理解	400
10 月 24 日	サンシャイン	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	130
10 月 29 日	（公財）花巻国際交流協会	アマンダ・クリプス （アメリカ）	国際理解	15
10 月 29 日	盛岡市立山王小学校	イアン・サトル （アイルランド）	料理講座	180
11 月 9 日	大槌町国際交流協会	陳 玲 （中国）	語学講座	13
11 月 9 日 ～10 日	雫石町国際交流協会	趙 迪 （中国）	国際理解	30
11 月 24 日	（公財）花巻国際交流協会	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	200
11 月 26 日	（財）盛岡国際交流協会	王雨楠（中国）、 鐘雪嬌（中国）	国際理解	20
11 月 30 日	平泉町国際交流協会	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	40
12 月 1 日	子育てサポートセンター	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	300
12 月 6 日	盛岡市立東見前保育園 （東見前保育園ホール）	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	200
12 月 3 日	青山地域支援子育てセン ター	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	76
12 月 7 日	盛岡市立さくらがおか 保育園	イアン・サトル （アイルランド）	国際理解	100
12 月 7 日	盛岡市立つなぎ幼稚園	楊 揚 （中国）	国際理解	35

12月14日	MTCA サポーターの会	アマンダ・クリプス (アメリカ)	国際理解	7
12月24日	愛育園地域子育て支援 センター	ヨン・ラフン・オッドソン (アイスランド)	国際理解	59
12月21日	岩手県立児童館いわて 子どもの森	小笠原カミーラ (ブラジル)	料理講座	6
12月24日	社会福祉法人福振会 津志田保育園	イアン・サトル (アイルランド)	国際理解	142
12月25日	岩手県立一関高等看護 学院	イアン・サトル (アイルランド)	国際理解	108
12月25日	青山保育園	ディーン・ホルディン・ ルツラー(アメリカ)	国際理解	180
12月25日	社会福祉法人三心会	グズフィンヌル (アイスランド)	国際理解	98
12月 18,19,20日	下太田保育園 (一誠会グループ)	イアン・サトル (アイルランド)	国際理解	400
1月9日	世田米学童クラブ	イアン・サトル (アイルランド)	国際理解	21
1月29日	NPO 善隣館	アマンダ・クリプス (アメリカ)	国際理解	5
1月30日	紫波町日詰小学校	イアン・サトル(アイル ランド)、宮 静(中国)	国際理解	80
2月2日	金ヶ崎町国際交流協会	チャン・クオック・トアン (ベトナム)	国際理解	60
2月26日	西和賀町教育委員会生 涯学習課	宮 静 (中国)	国際理解	11
3月22日	九戸村国際交流協会	在原エリザベス (ペルー)	国際理解	12
3月27日	末崎長学童保育会 希望の丘	ヴァレラ・チベス・ミゲル・アンゲル(メ キシコ) チャン・クオック・トアン(ベトナム)	国際理解	27

⑥ ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーを登録し、各市町村協会や団体と連携し、活動の機会を提供した。特に今年度は、日米学生会議「岩手プログラム」で35家庭に協力していただいた。

・登録者 142家庭 活用1件35家庭(前年度133家庭、6件)

⑦ いわて国際化人材の登録・活用

通訳や翻訳、講座の講師、料理講座や踊りなど伝統文化の紹介などの依頼に対応するために、外国人や海外経験のある人材を登録し依頼に応じて紹介を行った。

様々な言語の依頼に対応できるよう登録者の拡大を図り、インドネシア語やベトナム語など希少言語の依頼にも対応した。

・登録者 個人280人 団体7、依頼件数68件、活用件数58件
(前年度 // 262人 // 7 // 76件 // 63件)

⑧ 国際交流団体等への活動支援

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動が活発に行われるようにするため、経費の一部を助成した。

・助成数 7件 助成総額 498千円

(前年度 7件 // 504千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
多文化共生理解のための「国際交流会」の開催事業	川崎 21 世紀国際交流クラブ	54,000 円 (170,318 円)
ユニセフ平和チャリティーコンサート	岩手県ユニセフ協会	100,000 円 (488,267 円)
キッズワールドクラブ	(財)遠野市教育文化振興財団	55,000 円 (250,647 円)
南米フェスティバル～Mais para la!～「みんなで繋げよう～過去・今・未来」	いはと一ぶ・ミュージック・コミュニケーションズ I M C	100,000 円 (241,560 円)
「第 23 回外国人によるスピーチコンテスト」	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	100,000 円 (349,465 円)
国際アカデミー「ベトナム編」	釜石市国際交流協会	9,000 円 (19,841 円)
日中友好留学生との交流会	盛岡市日中友好協会	80,000 円 (202,956 円)

(3) 国際理解の推進

① 企画展示

6 月にアフリカ開発会議が開催されたことを受け、アフリカに関する展示、ブラジルやパラグアイ県人会の周年記念、日・ASEAN 交流 40 周年など、タイムリーなテーマを取り上げ、年間を通じて「企画展示」を開催した。また、「国際リニアコライダー」については、県や市町村から提供された発行物の提供とともに年間を通じてコーナーを設置し P R に努めた。

開催場所 国際交流センター内 展示コーナー

期 間	タイトル (協力団体等)
平成 25 年 1 月 29 日 (前年度) ～7 月 31 日 ※ミニ展示は、その後も継続	「東北と世界を繋ぐ ～国際リニアコライダー～」 (岩手県、東北 ILC 推進協議会、胆江日日新聞、奥州市、一関市)
4 月 23 日 ～5 月 31 日	「2013 世界フェアトレード・デー in いわて ～Power of Hands 企画展」 (ネパリ・バザーロ、特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン)
6 月 13 日 ～7 月 31 日	「知ってる？アフリカのこと・・・」 (第 5 回アフリカ開発会議横浜開催推進協議会事務局、外務省、JICA、JOCA、横浜市文化観光局、釜石市総務課国際交流室、菊池弥生、玉沢多賀)
6 月 3 日～8 月 6 日	「古代ロマン紀行 ～東北の子供たちエジプト旅行～」 (エジプト大使館、岩手県)
8 月 9 日～9 月 9 日	「ブラジル岩手県人会設立 55 周年、パラグアイ・イグアス岩手県人会 50 周年記念企画 ～国際交流の先駆者たち～」 (岩手県、ブラジル県人会、海外移住資料館)

9月12日 ～11月10日	「日・ASEAN 交流 40 周年、日本ベトナム外交関係樹立 40 周年記念企画 ～知ってる？東南アジアのこと～」 (日本アセアンセンター、日越友好記念実行委員会、外務省国内広報室、文化庁、長崎ベトナム友好協会、ベトナム観光総局、青年海外協力協会)
11月28日 ～26年1月24日	「外国人の紹介するわたしの国～ワン・ワールド・フェスタのハイライト」 (青年海外協力協会)
2月10日 ～3月31日	「世界のお祭り大集合！！」
3月14日 ～3月24日	「外国人留学生による “岩手のいいところ” 写真展」 (岩手大学)

(4) 国際交流団体等との連携

① 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体の活動の活性化を図るために、各団体間の意見交換や情報交換のほか、当協会との情報共有の機会として関係団体連絡会議を国際交流センターで開催したほか、地域での意見交換会を久慈市で開催した。

久慈市で開催した県北沿岸地域の団体対象の意見交換会では、各団体の活動状況や現在の課題など活発な情報交換が行われた。

○国際交流関係団体連絡会議

- ・開催日 平成 26 年 2 月 16 日(日)
- ・会場 国際交流センター
- ・参加者 24 団体 31 人 (前年度 26 団体 27 人)

○国際交流関係団体地域意見交換会

- ・開催日 平成 26 年 1 月 29 日 (水)
- ・会場 久慈市役所
- ・参加者 7 団体 9 人 (前年度 10 団体 14 人)

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 139 団体 (前年度 145 団体)

分野	団体数
国際理解	19
国際協力	10
日本語教室	8
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	15
経済・観光	6
二カ国間交流	35
市町村・一般	33

② 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対して、共催団体として支援を行った。

ア 多文化キッズキャンプ 2014

- ・主催 いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会
- ・開催日 平成 26 年 1 月 11 日（土）～12 日（日）
- ・会場 岩手山青少年交流の家
- ・参加者 50 人（内 国籍の子ども 19 人、国籍数 5）
- ・内容 幼稚園児から大学生まで、幅広い年齢の外国につながる子どもたち（親が外国人）が参加し、大学生のボランティアや日本語サポーターの方々からの教科と日本語の学習サポートやスポーツやゲームを通じての交流を行った。

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

① 海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」

国際社会で活躍できる次世代の人材を育成するため、県内在住の高校生、大学生などを対象に、「英語のロジックで伝える～ロジカルシンキング、クリティカルシンキング～」をテーマに、留学の意義を考える講演、日米学生会議「岩手プログラム」（被災地訪問）への参加、語学研修、合宿研修、留学などに必要な情報や知識を得るセミナーを開催し、海外留学への啓発普及を図った。

合宿研修では留学生等と寝食をともにして過ごすとともに、実際にグローバル社会で活躍されている方を講師に迎え講座を行った。

開催場所；アイーナ及び清温荘（盛岡市）

参加者：延べ 175 人（前年度 119 人）

第 1 回 講演会「今、留学の意義を考える！」

日時：平成 25 年 8 月 4 日（日）13 時 30 分～16 時 30 分

講師：フリーランス通訳、岩手大学非常勤講師 上村康子氏

英語講座 1 「First reaction～3.11 を振り返る」

講師：岩手大学教育学部准教授 ジェームズ・ホール氏

第 2 回 「Facing the reality」（被災地・宮古市田老地区訪問）

日時：平成 25 年 8 月 14 日（水）

第 3 回 英語講座 2 「Next step ～復興の未来図～」

日時：平成 25 年 9 月 15 日（日）14 時～16 時

講師：岩手大学教育学部准教授 ジェームズ・ホール氏

第 4 回 英語講座 3 「Be frontier～起業家に学ぶ～」

日時：平成 25 年 10 月 6 日（日）

講師：マルクス・ロスケン氏

第 5 回 講座「21 世紀の日本におけるグローバル人材育成の取り組み」

（講座終了後、英語でのディスカッション）

日時：平成 25 年 11 月 10 日（日）14 時～16 時

講師：国際教養大学 副学長 マーク・ウィリアムズ氏

第 6 回 合宿研修

日時：平成 26 年 1 月 6 日（月）～7 日（火）

場所：清温荘（盛岡市）

② インターンシップ・プログラム

本協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するため、岩手県経営者協会が主催するインターンシップ・プログラムの受入れを行った。

（受入実績：4 校、6 名）

ア タイ人留学生

所属：チュラロンコン大学 1 年 日本語専攻

受入期間：平成 25 年 4 月 16 日（火）～4 月 18 日（日）

- イ 滝沢村立滝沢第二中学校（職場体験学習）2名
受入期間：平成25年7月9日（火）9
- ウ 岩手県立大学盛岡短期国際文化学科1年 1名
受入期間：平成25年8月20日（火）～8月24日（土）
- エ 盛岡市立厨川中学校2学年（職場体験学習）2名
受入期間：平成25年11月6日（水）

③ 地域国際化リーダー研修会の開催

地域国際化リーダーを育成するため、国際交流関係団体の職員等を対象とした研修会を、国際交流連絡会議開催と同日に国際交流センターで開催した。

○講演「グローバル化する世界と岩手の魅力」

講師：（公財）岩手県国際交流協会理事長 平山健一

開催日：平成26年2月16日（日）

参加者：24団体31人（前年度 26団体26人）

(2) 海外研修員等の受入れ

① 海外研修員等のサポート

県から委託を受けて、県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び県費留学生の研修等がスムーズに行われるよう生活上の支援を行うとともに、岩手における生活を充実して過ごし、本県の良き理解者・支援者となるようサポートを行った。

区分	氏名	期間	出身国	研修(内容)・留学先
海外自治体職員研修員	朴 蓮姫	平成24年6月～ 平成25年5月	中国	岩手県
海外自治体職員研修員	李 博	平成25年6月～ 平成26年5月	中国	岩手県
海外技術研修員	佐々木みか	平成25年5月～ 平成25年12月	アルゼンチン	さくら治療院(指圧)

4 震災被災地復興の支援

(1) 外国人相談

震災被災地で震災に関する相談、またそれに付随する相談について、被災地外国人相談員を委嘱し、協会と連絡調整を図りながら活動していただいた。

- ・被災地外国人相談員

山田町担当：佐藤秀樹氏（社会福祉法人三心会事務長）

大槌町担当：元持幸子氏（NPO つどい～大槌の人とまちを育む～事務局長）

大船渡市・陸前高田市担当：大和田加代子氏（陸前高田市国際交流協会日本語教室講師）

- ・委嘱期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

(2) 震災被災地団体支援

被災地での国際交流活動が再開できるよう、野田村、山田町、大槌町で事業を実施するとともに、各地域の国際交流団体の支援を行った。

(3) 日米学生会議「岩手プログラム」

日本とアメリカの学生交流プログラム「日米学生会議」の一環で実施された岩手プログラムの中で、ホームステイや被災地訪問について実施協力を行った。

- ・ホームステイ 期間：平成 25 年 8 月 16 日～17 日
ホストファミリー数：35 家庭
- ・被災地見学 日時：平成 25 年 8 月 14 日（水）
場所：宮古市田老地区

(4) アイーナ復興バザーの開催

アイーナ入居施設が連携して取り組むアイーナ復興バザーに参加し、被災地復興支援に協力した。

開催日：平成 25 年 6 月 16 日及び 10 月 6 日

< 管理部門 >

I 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会及び専門委員会の開催状況は、次のとおりである。

1 評議員・理事会等

(1) 第 8 回理事会

ア 開催日 平成 25 年 6 月 6 日 (木)

イ 開催場所 アイーナ 6 階団体活動室 3

ウ 決議事項

- ① 平成 24 年度事業報告及び附属明細書の承認
- ② 平成 24 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認
- ③ 定時評議員会の招集

エ 報告事項

- ① 職務の執行の状況
- ② 資金運用の経過及び結果
- ③ 平成 25 年度県出資等法人運営評価シート

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名。監事出席 1 名。

(2) 第 4 回評議員会

ア 開催日 平成 25 年 6 月 24 日 (月)

イ 開催場所 アイーナ 6 階団体活動室 2

ウ 決議事項

- ① 平成 24 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認
- ② 理事の選任

エ 報告事項

- ① 理事会の決議内容
- ② 平成 24 年度事業報告及び附属明細書
- ⑤ 平成 25 年度事業計画書及び収支予算書
- ⑥ 職務の執行の状況
- ⑦ 資金運用の経過及び結果
- ⑧ 平成 25 年度岩手県出資等法人運営評価シート

オ 出席等

決議に必要な出席評議員の数 7 名、出席 8 名。監事出席 1 名、理事出席 2 名。

(3) 第 9 回理事会

ア 開催日 平成 25 年 6 月 26 日 (水)

イ 開催場所 アイーナ 6 階 602 会議室

ウ 決議事項

- ① 理事長の選定
- ② 常務理事の選定及び報酬月額の設定

エ 報告事項

- ① 第4回評議員会の決議事項等

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数6名、出席10名。監事出席1名。

(4) 第10回理事会

ア 開催日 平成25年11月1日(金)

イ 開催場所 アイーナ5階ミーティングルーム

ウ 報告事項

- ① 職務の執行の状況
- ② 資金運用の経過及び結果
- ③ 中期経営目標の進捗状況
- ④ 平成24年度事業の評価

エ 出席等

決議に必要な出席理事の数6名、出席8名。監事出席2名。

(5) 第11回理事会

ア 開催日 平成26年3月13日(木)

イ 開催場所 アイーナ6階団体活動室3

ウ 決議事項

- ① 平成26年度事業計画書及び収支計算書の作成
- ② 県出資等法人に係る中期経営計画書(平成24年度～平成26年度)の時点修正

エ 報告事項

- ① 職務の執行の状況
- ② 資金運用の経過及び結果
- ③ コンプライアンスの状況
- ④ 平成25年度岩手県出資等法人運営評価レポート

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数6名、出席10名。監事出席2名。

2 専門委員会

(1) 第1回企画推進専門委員会

ア 開催日 平成25年9月28日(土)

イ 開催場所 アイーナ6階講師控室

エ 審議事項

平成24年度実施事業の評価

オ 出席等

専門委員7名、理事1名。

(2) 第2回企画推進専門委員会

ア 開催日 平成26年2月28日(金)

- イ 開催場所 アイーナ 5 階ミーティングルーム
- ウ 審議事項
平成 26 年度事業計画（素案）
- エ 出席等
専門委員 9 名、理事 2 名。

II 業務執行体制等

1 職員の状況

4 月より非常勤専門職員（スタッフ）1 名を補充採用した。非常勤専門職員（スタッフ）の 1 名が 8 月中旬より産休及び育休に入ったことに伴い、9 月より新たに非常勤専門職員（スタッフ）1 名を補充採用した。

平成 25 年度末の事務局職員数は、常勤職員 3 名、非常勤専門職員 8 名、非常勤相談員 2 名、非常勤補助員 5 名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

2 コンプライアンス体制及び職員研修

職員に対して当協会の目的や内部規程等の理解を図る目的で、平成 25 年 6 月及び平成 25 年 12 月の 2 回、理事長講話・訓示を行った。

また、平成 26 年 3 月、規程に基づく事務局内コンプライアンス委員会において平成 25 年度におけるコンプライアンスの状況の確認を行い、理事会に報告した。

3 JICA 国際協力推進員の配置

当協会と JICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA 東北支部との協定により、協会内に JICA デスクを設置し、国際協力推進員を配置しているが、平成 25 年度も継続配置した。

III 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

1 寄附金の受入れ

次の 4 件 138,518 円の寄附金を受け入れた。

- (1) 基本財産寄附金
2 件 58,518 円
- (2) 一般寄附金
1 件 30,000 円
- (3) 協賛寄附金
1 件 50,000 円

2 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、平成25年3月から5月に募集キャンペーンを行い、新規入会者に入会記念品を差し上げたほか、通年、イベント開催時に参加者に賛助会員入会を呼びかけた。平成25年度の新規入会は36件あった。

平成25年度中の入退会の状況は、次のとおりである。

	平成25年3月末	入 会	退 会		平成26年3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	399	25	15	0	409	+10
学生会員	18	9	2	0	25	+7
団体会員	61	2	1	0	62	+1
合 計	478	36	18	0	496	+18

平成 25 年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 6 月

公益財団法人岩手県国際交流協会